

★人気コースのコーチング・OJTに、メンタルケアを加え、より深い支援型へリニューアル!

コーチングをベースに実践する支援型マネジメント

～日々の関わりを一体感、貢献感、自己肯定感、成長につなげる学ぶ～

- 支援型マネジメントは三刀流コミュニケーションで成り立つことを理解し、実践につなげる
- 支援責任、育成責任を果たすことは、結果として仕事の成果につながることを理解する
- アサーティブコミュニケーションが部下の育成やメンタルケアにつながることを知り、実践につなげる

日時：2025年9月9日(火) 9:45～16:45

講師：(公財)日本生産性本部 カウンリングマネジメントセンター 星名 英樹 氏



プロフィール カウンリングマネジメントセンター講師、産業・組織カウンセラー、国家資格キャリアコンサルタント

日頃より階層別研修、テーマ別研修の企画・運営・指導や経営トップ層の教育に従事。

「関わり方次第で、人は変わる、育つ」を信条とし、新入社員、

中堅社員、管理者研修 いずれにおいても公開コース、企業内教育問わず

受講者の目線に合った「対話型」研修を実施しています。

会場：(予定)新潟県勤労福祉会館 2階 研修室 ※新潟県庁近く
新潟市中央区新光町6-2 ☎025-281-3020

🚗お車でお越しの場合は、近隣の有料駐車場をご利用ください。
(提携駐車場なし)

※会場が変更になった場合は、受講証、ホームページでお知らせいたします

参加費(資料代・ランチ代込み・税込)

■会員 12,400円 ■一般 17,400円

☆同一コースに3名以上参加される場合は1名につき1,000円、

5名以上参加される場合は1名につき1,200円の割引をいたします。

☆ランチは ① お弁当 ② 不要よりご選択ください。

昨年の受講者の声(コーチング・OJTコース)

- ・社内教育では不足する点、理解できなかった点を補うことができ、とても役立つ研修でした。
- ・なるほど、と理解を深める部分、NG例については、やってしまったな・・・と気づいた部分があり、興味深くお聞きできました。本日の内容を振り返りながら、今後OJTだけではなく、日々接する中でも気を付けていきたいと思えます。
- ・傾聴の部分で「主話から本音をつかむ」ところが苦手である。今後意識して取り組んでいきたいです。
- ・育成につながるようなオープンクエスチョンやチャックダウン等の質問の仕方を意識的にしていきたいと思いました。
- ・休憩中も具体的な職場での困り事について聞いていただき、色々と教えていただき、大変勉強になりました。

カリキュラム

オリエンテーション

第1部 支援型マネジメントとは

1. 求められる背景と期待される効果
 2. 意欲を引き出す関わり方
 3. コミュニケーションの原則と基本姿勢
 4. 3種のコミュニケーション活用のポイント
- ・意欲と能力を引き出し活かすコーチング
 - ・明確な指導を実現するティーチング
 - ・ケアにつなげるカウンセリング

第2部 OJT の基本

1. OJT とは何か
 2. OJT の進め方
- ～計画指導と機会指導のポイント～

第3部 メンタルヘルスケアの基本

1. ストレスと不応
2. 不応の引き金(トリガー)
3. 不調時のSOSのサイン
4. 不調に気づいたら～OK行動とNG行動～
5. 日ごろから気をつけるべきマネジメントのポイント

第4部 支援・育成につなげるコミュニケーション

1. 質問～気づきを促し、行動につなげる～
2. 傾聴～部下に寄り添い、気持ちを理解する～
3. 強化～認めて次の一歩を後押しする～
4. 改善～正すべきことは改善を促す～

第5部 支援型コミュニケーションの実践

1. コーチングによる育成と能力開発
2. カウンセリング的アプローチによるケア

まとめ



2025年9月9日「コーチングベースに実践する支援型マネジメント」参加申込書

組織名	(会員・一般)	TEL	
所在地		FAX	
業種			
お申込み責任者 氏名	所属・役職	E-mail	
参加者	所属・役職	氏名 フリガナ	ランチの希望

ご記入頂きました個人情報、本研修の実施に係る資料等の作成及び当本部が主催する事業におけるサービス提供のみに利用させていただきます。

お申込みは FAX 025-290-7821 または下記URL申込フォームよりお申し込みください。

URL <https://docs.google.com/forms/d/1PSWFM2KXSYTSEYPSDS9SSXQGWXZRHMHYKOTYNA0C4W/EDIT>

※開催2週間前を過ぎてからのお申し込みの場合は、お手数ですがお電話でのご連絡をお願いいたします。

お問合せ先 TEL 025-290-7127

新潟県生産性本部

検索

